

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36235
事業名	家庭の生ごみ減量・リサイクル推進費					
評価担当課	所 属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	011-211-2928
施策名	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組むと					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	新スリムシティさっぽろ計画において、家庭から出る生ごみ量を、平成28年度比1. 0万吨以上減量し、2027年度までに生ごみ排出量8. 6万吨を目指す新たな目標が設定され、さらなる生ごみ減量が求められている。堆肥化実践者を増やすためセミナーを開催しているが、参加者の約7割が60代以上であるため、若い世代の参加者を増やすこと、また、堆肥化を継続して行ってもら環境づくりが必要である。
	事業内容(何を実施し)	各家庭から排出される生ごみ減量のため以下の取組を行う。 ①生ごみ堆肥化セミナーの開催 セミナー参加者:729人 講師派遣:232人 ②生ごみ堆肥化相談窓口の開設 相談件数:158件 ③電動生ごみ処理機購入助成 助成台数:323台 ④生ごみ堆肥化器材購入助成 助成個数:502個
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	生ごみ堆肥化に取り組む世帯の割合を増加させ、生ごみの減量を促進することで、新スリムシティさっぽろ計画に定める生ごみ排出量の目標値の達成を図る。
	他都市の状況	生ごみ堆肥化セミナーについては政令市9都市、生ごみ堆肥化機材の助成については政令市11都市が実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	15,873 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工
令和5年度予算額	15,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工
令和5年度決算額	14,098 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工
令和6年度予算額	16,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	生ごみ堆肥化セミナーの参加人数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		724	700	961	1,400	1,400	1,400
	↓						
	アウトカム成果指標1	生ごみの堆肥化に取り組む世帯の割合(%)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		8.4	9	6.5	10	11	12
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	世帯割合の把握はアンケートによるため、年度によりばらつきが出てしまうが、過去には当該割合が10%以上となったこともあったことから、取組の継続により数値が向上してくると見込んでいる。					
	アウトプット活動指標2	助成により新規に堆肥化を始めた世帯数(推定、H30～累計)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,235	1,550	1,604	1,865	2,180	2,495
	↓						
	アウトカム成果指標2	家庭から出る生ごみ量(t)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		88,693	88,000	89,231	87,400	86,900	86,400
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	直近数年間において、家庭から出る生ごみ量は減少傾向にあり、電動生ごみ処理機の助成台数増加やセミナー参加者数の増加による生ごみ堆肥化の普及促進等から、生ごみ量の削減を見込んでいる。					

今年度の見直し内容	新型コロナの取扱変更に伴い、セミナー定員を従来に戻し、参加人数の回復を図る。電動生ごみ処理機の助成金額上限を引き下げ、助成定員の増加することで、堆肥化に取り組む世帯数の増加を図る。
来年度以降の方向性	生ごみ堆肥化器材及び電動生ごみ処理機の予算執行率は9割程度と好調であり、セミナー受講者の満足度も高いことから、適宜、助成数やセミナーの定員数等の見直しを検討しながら、引き続き堆肥化の取組の浸透に努めていく。